

ご使用に際して、この説明書を必ず読んで下さい。
また、必要な時に読めるよう本剤とともに保管して下さい。

東洋漢方の小建中湯

(しょうけんちゅうとう)

第2類医薬品

本剤は、漢方の古典「傷寒論」「金匱要略」に記載されている小建中湯に準拠して製造された煎薬用の紙パック剤です。

⚠️ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

次の人は服用しないこと
生後3ヵ月未満の乳児。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- | | |
|----------------------|------------------------------------|
| (1)医師の治療を受けている人。 | (5)今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起したことがある人。 |
| (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。 | (6)次の症状のある人。：むくみ |
| (3)吐き気・嘔吐のある人。 | (7)次の診断を受けた人。：高血圧、心臓病、腎臓病 |
| (4)高齢者。 | |

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つばり感やこわばりに加えて、脱力感、 筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。

3. 1ヵ月位服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

[効能・効果]

体質虚弱で疲労しやすく、血色がすぐれず、腹痛、動悸、手足のほてり、冷え、頻尿および多尿などいすれかを伴う次の諸症：小児虚弱体質、疲労倦怠、神経質、慢性胃腸炎、小児夜尿症、夜なき

[用法・用量]

大人(15才以上)は1包(1日量)を和紙袋入りのまま、水500mLを加え、半量位まで煎じつめ、和紙袋とともに煎じかすを除いた後、添付のコウイ2個を煎液に入れ、再び5分ほど煎じた後、食前に温服して下さい。小児(15才未満)は同様に煎じ、下記の量を食前に温服して下さい。

年 齢	1包(1日量) 煎じ液	1日服用回数	年 齢	1包(1日量) 煎じ液	1日服用回数
大人(15才以上)	全 量	3回に分けて	7才未満4才以上	1/2量	3回に分けて
15才未満7才以上	2/3量		4才未満2才以上	1/3量	
			2才未満	1/4量	

<用法・用量に関連する注意>

- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させること。
- 用法・用量を厳守すること。

[成分・分量]

[本品1包+コウイ2個(20g)] 37.0g中			
日本薬局方 ケ イ ヒ	4.0g	日本薬局方 シ ャ ク ヤ ク	6.0g
日本薬局方 シ ョ ウ キ ョ ウ	1.0g	日本薬局方 カ ン ソ ウ	2.0g
日本薬局方 タ イ ソ ウ	4.0g	日本薬局方 コ ウ イ	20.0g

保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- 小児の手の届かない所に保管すること。
- 他の容器に入れ替えないこと。
- 煎じ薬は腐敗しやすいので、冷暗所又は冷蔵庫等に保管し、服用時に再加熱して服用すること。



[問い合わせ先]

本製品についてのお問合せは、お買い求めのお店、または下記にお願い申し上げます。

東洋漢方製薬株式会社「お客様相談室」

電話 0120-00-1040

受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度の問合せ先
(独) 医薬品医療機器総合機構
電話 0120-149-931

製造販売元

東洋漢方製薬株式会社

〒584-0022 大阪府富田林市中野町東2丁目1番16号